

## 様式 1

授業科目 老年学

科目コード番号

|              |         |     |         |                |
|--------------|---------|-----|---------|----------------|
| 【担当教員名】 林 干治 | 対 象 学 年 | 2 年 | 対 象 学 科 | 理学・作業・言語・栄養・社会 |
|              | 開 講 時 期 | 後 期 | 必修・選択   | 必修・必修・必修・必修・選択 |
|              | 単 位 数   | 1   | 時 間 数   | 15             |

## 【概要及び学習目標】

<概略>各職種の対象は高年者が主体となる場合が多い。高年者（老年者）の生理学的特徴を学ぶとともに、前期で履修した内科疾患を老年者が罹患した場合の特徴、および老年期に特異的な疾患について学ぶ。

<学習目標>老化とは何かを理解する。さらに、各疾患における高年者の特徴を理解する。

| 回数 | 学 習 の 主 題   | 学 習 内 容              | 学習方法 |
|----|-------------|----------------------|------|
| 1  | 老年病総論       | 老化とは何か               | 講義   |
| 2  | 老年者の疾病の特徴   | 高年者に対する治療・看護の注意点     | 講義   |
| 3  | 循環器・呼吸器疾患   | 高年者の循環器・呼吸器疾患の特徴     | 講義   |
| 4  | 心電図、不整脈     | 最低限必要な心電図所見の見方について学ぶ | 講義   |
| 5  | 消化器・腎泌尿器・血液 | 高年者の消化器・腎泌尿器・血液疾患の特徴 | 講義   |
| 6  | 内分泌・代謝疾患    | 高年者の内分泌・代謝疾患の特徴      | 講義   |
| 7  | 精神・神経・感覚器疾患 | 高年者特有の精神・神経・感覚器疾患    | 講義   |

## 【評価方法】

試験のみ

## 【履修上の留意点】

前期の内科学あるいは一般臨床医学とペアで履修することが望ましい。一般的な内科的知識（前期での授業内容）はあるものとして講義する。

## 【使用図書】

| 教科書・参考書等       | 書 名 等      | 著 者 名      | 発 行 所    | 発行年・価格・その他          |
|----------------|------------|------------|----------|---------------------|
| 教科書            | 使用しない。     |            |          |                     |
| 参考書            | 老年医学テキスト   | 日本老年医学会（編） | メジカルビュー社 | 1997年6月10日<br>6500円 |
| その他<br>（プリント等） | 各授業時に配布する。 |            |          |                     |